

「大分県中津市で こねぎ農家になりませんか」

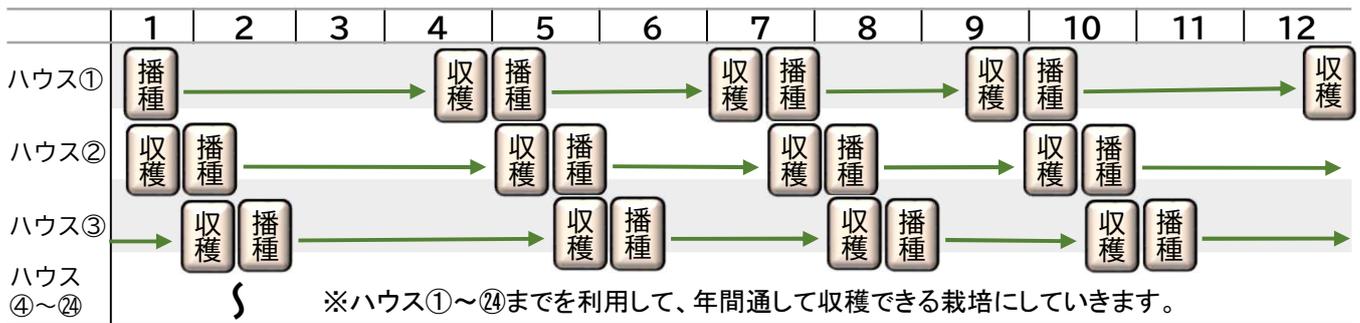
(R6.2作成)

●中津市のこねぎ（大分味一ねぎ）経営の特長

研修生1組2名募集中

- こねぎ農家になるため2カ年の実施研修や座学と並行して、農地の確保や経営目標の作成、ハウス建設に向けた準備、補助事業の申請、農家になるための行政手続等、やることはたくさんありますが、安心してスムーズに就農できるよう関係機関にてサポートします。
- 現在、関係機関で連携して、大分味一ねぎの更なるブランド化に取り組んでいます。
 - 販路が確保されているため、販売単価が安定しています。
 - 栽培期間は概ね夏60日、冬120日以上で、年間3回以上栽培できます。
 - こねぎは年間を通して栽培できるため、収入を安定して確保できます。
 - 夏場はハウス内が高温になるため、午前3時頃の気温が低い時間帯から収穫を行います。
 - 冬場は前日の日中に収穫したものを翌日出荷することもあります。
 - 市内パッケージセンター（共同調整場）に、こねぎの調整や袋詰め作業を委託できます。

●こねぎ栽培の1年



●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標
品目・規模・収量(単収/10a)
・こねぎ(夫婦型) 70a 28t(4.0t)
販売額・所得
・販売額 2,500万円 ・所得420万円
従事者
・家族 2人

就農10年目の経営目標
品目・規模・収量(単収/10a)
・こねぎ(夫婦型) 70a 31.5t(4.5t)
販売額・所得
・販売額 3,200万円 ・所得 530万円
従事者
・家族 2人

・単収増加
・品質向上

※専従者給与は所得に含む。

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

※技術レベルが上がり、高品質なこねぎの生産が可能となった場合。

●モデル経営体の紹介

氏名 川島正裕（大分味一ねぎ宇佐部会員）

経営概要

面積1.2ha 単収4.5トン 販売額5,800万円

構成員3名（雇用2名）

就農11年目

経営理念

- ・大規模産地の構成員の一人として、ニーズに応えられる生産を行っていく

メッセージ

- ・お金の面だけではなく、やりがいや生きがい等の「農業のいいこと」を見つけることが大切です



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

大分味一ねぎ生産部会中津支部

会員数:7名 面積:5.6ha

【活動】

- ・月1回の勉強会や園地回り
- ・流通研修
- ・販促活動

大分“味一ねぎ”トレーニングファーム運営会議

【活動】

- ・運営会議(研修状況確認、農地情報共有、就農相談)の開催
- ・座学(土づくり、薬剤、経営、簿記、農政制度、資金関係)
- ・研修生との面談、就農に向けた事業計画作成支援等



就農コーチ

高い技術力を持つ就農コーチから指導を受けながら研修用の栽培施設で自ら栽培することにより、栽培技術を学びます。



●中津市の支援策

◆移住制度

- ・移住支援金、移住応援給付支援金
- ・家財等処分補助金、空き家改修補助金
- ・Uターン住宅改修補助金

◆子育て支援

- ・保育料支援
- ・児童への医療費助成

◆就農支援

- ・中津市自立経営農家育成資金貸付事業

●産地が求める人材

- ①独立自営就農の意欲が高い方
- ②心身ともに健康な方
- ③積極的に地域活動に参加し、地域との交流ができる方
- ④原則、50歳未満の方
- ⑤中津市に移住就農される方
- ⑥農業経営の知識・技術を習得する意欲が高い方

【研修生募集人数】 1組2名

●問い合わせ先

JAおおいた北部事業部
〒872-0521 宇佐市大字中敷田559
TEL:0978-25-4655
FAX:0978-25-4656

中津市役所 農政課
〒871-8501 中津市豊田町14番地3
TEL:0979-62-9047
FAX:0979-26-1154
メール:nousei@citi.nakatsu.lg.jp
ホームページ:https://www.city-nakatsu.jp



就農相談フォーム